

## 07. 動詞の現在人称変化 (2)

### 1. 発音上の変則

英語が発音をしやすくするために *teach* は *he teaches* のように *e* を挿入したり、*study* は *she studies* などのように *y* を *i* に変えて *-es* をつけるなどの変則をもっているのと同様に、ドイツ語も次のようなきまりがあります。

a. 語幹が *-d*, *-t*, で終わるものや、その他いくつかのものは *du*, *er*, *ihr* の語尾に *-e* を入れて発音しやすくするため、この *-e* を「口調(くちょう)の *-e* 」といいます。

finden 「見つける」	du findest	er findet	ihr findet
arbeiten 「働く」	du arbeitest	er arbeitet	ihr arbeitet
rechnen 「計算する」	du rechnest	er rechnet	ihr rechnet
öffnen 「開く」	du öffnest	er öffnet	ihr öffnet

b. 語幹が *-s*, *-ss*, *-ß*, *-tz*, *-z*, *-x* などの[ス]や[ツ]などの歯のあいだから出る音、つまり「歯音(しおん)」で終わるものは *du* の語尾は *-t* のみをつけます。これは語幹がすでに[ス]や[ツ]などの音を持っているために、あらためて語尾に *s* を必要としないからなのです。

reisen 「旅行する」	du reist	küssen 「キスをする」	du küsst
grüßen 「挨拶する」	du grüßt	tanzen 「ダンスをする」	du tanzt
sitzen 「座っている」	du sitzt		

c. 語尾が *-n* で終わる動詞のなかでその前の語幹が *-el* となっているものは、発音をしやすくするために単数1人称 *ich* では語幹のほうの *e* を省く場合が普通です。

sammeln 「集める」	ich sammle	lächeln 「ほほえむ」	ich lächle
---------------	------------	----------------	------------

しかし、*wandern*「歩き回る」などの語幹が *-er* で終わる似たような動詞では *e* を省かない方が一般的です。

wandern 「歩き回る」	ich wandere	ändern 「変更する」	ich ändere
----------------	-------------	---------------	------------

語幹が *-el* で終わっていても *-er* で終わっていても聞いた限りではたいして違わないように聞こえるのに、なぜ *-el* では *e* を省略し *-er* ではそうしないのが普通なのかという問題は、ドイツ人は日本人とは異なり *l* と *r* の発音法がまったく違うことに由来しているからなのです。しかしドイツ人でもときどき *ich wandre* というように *e* を省略するひとがいることも事実で、この点は必ずしも厳密ではありません。

ただし、*wandre* の *d* は発音の原則では音節末の *d* になりますから[ヴァントレ]となるはずですが、本来は *wandere* であつたため *wandre* [ヴァンドレ]と *d* を濁らせて発音します。

「口調の -e 」や「歯音では du -t 」の原則は守らないと、聞き苦しいかあるいはおかしいドイツ語とされますが、この場合は省略しなければ妙だとか変だということではなく、そうした方が発音しやすいという程度のことで、そのつもりで知っておきましょう。たとえばドイツ語を書いたり、話したりする場合などにこの e を省略しなかったから間違っているなどということはありません。

d. 英語の *do* に相当するものに *tun* という動詞があり、これも語尾が *-n* で終わる動詞なのですが、この動詞もやはり語幹から *-n* を取って規則的な変化をさせます。すでに学んだように複数1人称と複数3人称の定動詞は常に不定詞と同じかたちになりますから、*wir tunen* や *sie tunen* のようなかたちにはなりません。また英語の *do* とは違い、ドイツ語の *tun* には助動詞や代動詞の機能はないのです。

	sg.		pl.	
tun 「する」	ich	tue	wir	tun
	du	tust	ihr	tut
	er	tut	sie	tun

## 2. 外来語の動詞

外国のことばが移入されて定着したものを外来語といいますが、ドイツ語の動詞は外来語の場合は *-ieren* というかたちで終わるのが普通です。不定詞語尾はもちろん *-en* の部分です。

- a) 外来語系の動詞は *-ieren* という形で終わるものが多い。
- b) アクセントはかならず *-ieren* の *ie* の部分におかれる。

ドイツ語には、古代ギリシア語やラテン語に起源をもつもの、近代のイタリア語、フランス語、英語に起源をもつものなどたくさんの外来語系動詞がありますが、なかには日本語からはいったものさえありません。

studieren	「(大学で)学ぶ」	<i>study</i>
operieren	「手術する」	<i>operate</i>
reparieren	「修理する」	<i>repair</i>
marschieren	「行進する」	<i>march</i>
tatamisieren	「日本風に暮らす」	<i>japanaise</i>

特に最近、英語から入ってきた外来語の動詞はむしろ英語のかたちにドイツ語の不定詞語尾 *-en* や *-n* をつけただけでつかう例もたくさんあります。

parken	「駐車する」	<i>park</i>
e-mailen	「Eメールする」	<i>e-mail</i>
jobben	「アルバイトする」	<i>job</i>
recyclen	「リサイクルする」	<i>recycle</i>